

開学を飾る「紀要創刊号」の発刊に寄せて

学校法人 弘前城東学園
弘前医療福祉大学
弘前医療福祉大学短期大学部

理事長 下田 敦子

学校法人弘前城東学園は、昭和40年に弘前市新寺町で、食の専門教育の場である弘前料理学院を開設したことに端を発し、時代と地域社会のニーズに応え、専門学校、短期大学などを開設し、有為な人材の養成に取り組んできました。

本年度は、本学園が高等教育機関として、学校運営に携わってから45年目という節目を迎えました。

この節目の年に、関係各方面のご指導とご尽力を賜り、「弘前医療福祉大学」を開学しました。

「教育は人なり」といわれるように、大学開学の準備に入ってまっ先に浮かんだ課題は、立派な教員を迎えることでした。

関係各方面からのご紹介などいただき、お陰さまで完成年次までに約40名の教授陣が揃ったことに、日々感謝しております。そして、お迎えした教員の皆様が早速、それぞれの研究成果を、紀要創刊号に発表されるというご努力に、頭が下がります。

大学はもとより教育、研究、社会貢献などの使命を背負っており、すぐれた研究が教育の質を高め、社会に貢献することに繋がります。

この意味で、各教員の積極的な姿勢を大変心強く感じております。本学園では45年の歴史を刻みながら、一貫して「ホスピタリティー精神」を教育の柱としてきました。

近年、我が国のモラルの低下が憂慮されております。モラル（道徳）とは、人生や社会に対する、私たちがあるべき精神的態度だといえるでしょう。

学生たちが、正しい知識や高度な技術を学ぶことと同等に、日常生活の礼儀作法から、職場に入っからのマナーまで、しっかり身につけた専門家に育つよう指導していきます。

私が敬愛するマザーテレサは、ノーベル平和賞受賞の折、次のように語っています。「私たちのしていることは、大海の一滴にすぎません。でも、この一滴がなければ海はその分狭くなり、海でなくなってしまうのです」

弘前医療福祉大学が大海の一滴にすぎなくとも、その使命を忘れることなくひたすらに努力を重ねたいと念じております。

開学を飾るにふさわしい紀要創刊号の発刊を、教職員一同と共によろこび、学長はじめ関係者各位に、心から感謝し結びとします。